



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

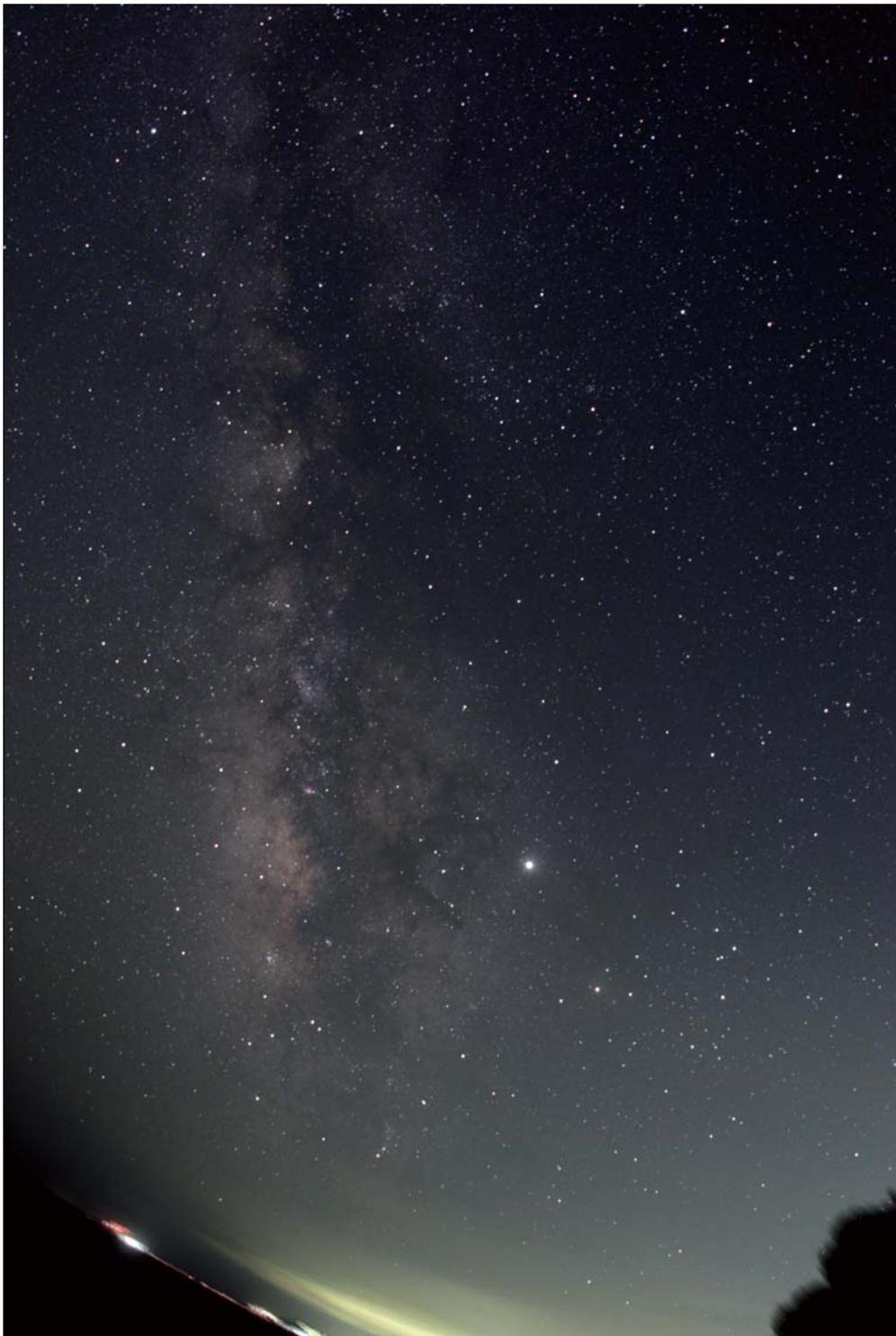
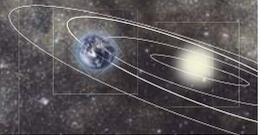
2013.4月号

ようこそ
銀河へ
天の川

春期特別展

WELCOME TO THE MILKYWAY GALAXY

天の川銀河へようこそ



真鶴半島先端から見た天の川

海から立ち上るように見える天の川…平塚の市街地では街明かりが明るく、ほとんど天の川が見えなくなってしまいました。ですが、空の暗いところに行けば今でもぼんやりとした姿を望むことができますでしょう。

ぜひ、天の川を双眼鏡やオペラグラスで覗いてみてください。天の川が星の集まりであることが分かります。天の川が星の集まりであることが明らかになったのはおよそ400年前、ガリレオが初めて望遠鏡を天の川に向けたことです。それ以来、星々の集団である天の川が宇宙のすべてだと考えられ、その構造を解明するために多くの科学者が研究に取り組んできました。

本展では、様々な観測・研究によって明らかになってきた天の川銀河の姿を、銀河に広がる水素ガスや恒星・変光星・星雲などの分布の観測データを元に模型で再現しました。合わせて地上から見た天の川の高精細写真を展示、天の川の姿を、それを構成する天体たちの素顔とともにご紹介します。展示室全体を暗くするという博物館はじめての試みです。夜空で天の川を眺めている、そんな雰囲気をお楽しみください。

<春期特別展 4月～5月の関連事業>



◎特別展展示解説(各回 50 分程度) 会場:特別展示室 ※参加自由

- ・4月14日(日) 午後3時30分～
- ・4月29日(祝) (1)午前11時～ (2)午後2時～
- ・5月5日(日) 午後3時30分～

◎プラネタリウム特別投影 「ギャラクシー・クルーズ」(約90分) 会場:プラネタリウム ※参加自由

- ・4月27日(土) 午後3時30分～

◎講演会(各回90分) 会場:講堂 ※参加自由

- ・第2回 4月6日(土) 午後3時30分～
「天の川銀河の精密測量」 本間 希樹 氏(国立天文台水沢 VLBI 観測所 准教授)
- ・第3回 4月7日(日) 午後3時30分～
「VERA が見つめる私たちの天の川銀河」 松本 尚子 氏(国立天文台水沢 VLBI 観測所 研究員)
- ・第4回 4月29日(祝) 午後3時30分～
「TMT で探る銀河の誕生」 家 正則 氏(国立天文台 TMT 推進室 教授)

○体験教室「天の川銀河の模型を作ろう」(各回90分) 会場:講堂

※往復はがきに作られる方全員の氏名、代表者の住所・電話番号を書いて博物館へ。

定員20組(応募多数時抽選)

- ・4月21日(日) 午後3時30分～ 【申込締切:4月12日(金) 必着】
- ・5月4日(土) 午後3時30分～ 【申込締切:4月19日(金) 必着】

平成24年度

平塚学講座

全課程を修了



◆ 2月9日に実施された「野外実習」



昨年の10月からスタートした平成24年度の「平塚学講座」が3月17日の講座「野外実習の発表」で全10回の課程を終了しました。

今年度は7回分野別講座に加えて、地域の地形や歴史を歩いて調べる「野外実習」と、その成果をまとめて発表するという内容が用意され、最終日には火薬廠の歴史や引込線の変遷、星のタイルの真実など、意欲的な調査成果を発表しました。

ふだん見慣れた身の回りの景色の中にも、いろいろな発見があることに気付かされ、参加者だけでなく学芸員にとっても実り多い成果発表でした。

発表終了後、全課程の7割以上出席した参加者42名に「修了証」が授与されました。



◆ 班別の「発表」は熱気にあふれました



新着資料展 ～民俗～

会期：4月3日（水）～29日（祝日）

平成24年度にあらたに受け入れた博物館資料から、4月は民俗分野の主な寄贈資料を展示します。

一軒の家に残されていた御札おふだ

お正月に神社や寺院からいただく御札は、一年間お祀りしたらお焚き上げて毎年取り替えるのが通例です。ですから古い御札はあまり残りません。ところがごく稀に毎年の御札を貯めておく家が見られます。当館ではすでに岡崎の沼田直司家から三代にわたって貯められていた御札が寄贈されています。昨年暮に、その二例目として秦野市堀山下の大木伸男家から膨大な数の御札が寄贈されました。昭和50年頃に母屋を解体した際に、厨子（屋根裏）から見つかったもので、量にして茶箱2箱と段ボール2箱分にのぼります。整理途中につき全貌は明らかにできませんが、御札の枚数は優に千枚を超えます。御札には大木家5代前の当主の名も記されていることから、少なくとも150年分くらいの御札が貯められていると思われます。なぜ大量の御札が貯められていたのかは不明ですが、御札の移り変わりや一軒の家がどんな社寺を信仰していたのかを詳細に知ることができる、一級の地域資料になりうると考えています。



寄贈時の御札と大神宮祠

太子講用具たいしこう

太子講とは聖徳太子を信仰する講で、建築関係の職人たちによって組織されます。当館初めて、東太子講から太子講用具が寄贈されました。元々は大野東部太子講といい、八幡、四之宮、真土の職人で構成していました。講仲間は20人程度で、正月22日に当番宅で例会を開き、床の間に聖徳太子の掛軸をかけ、高売繁盛や無病息災を祈りました。昭和30年代には正月の他に、6月に旅館で懇親会を開き、9月に須賀で遊船会を行うのが恒例で、信仰とともに職人仲間の親睦が図られていました。しかし、仲間の高齢化で6人に減り、昨年5月に解散しました。



聖徳太子の掛軸

日本刺繍ししゅうの施された帯・刺繍道具

現在の着物や帯にほどこされた刺繍のほとんどが機械刺繍であるのに対し、日本刺繍はすべて手作業で針を刺していきます。そのため、その作品はたいへん貴重で高価なものです。同様に日本刺繍の技術を持つ職人さんも稀少な存在です。寄贈者の錦織フミさんは、帯や着物へ日本の伝統刺繍をほどこす仕事を長年続けてこられた方です。作品と刺繍の道具を展示します。優美で繊細な日本刺繍の魅力を味わってください。



孔雀と鴛鴦

博物館こどもフェスタ2013 5月6日(月)開催!

今年で8回目を迎える「こどもフェスタ」。体験型イベント、収蔵室見学ツアー、プラネタリウム特別投影など、ゴールデンウィーク最終日に家族・友だち同士で楽しめるイベントが盛りだくさんです。いずれの行事も事前の申し込みは入りません。どうぞ、ふるってご参加ください。イベントの詳細は5月号でお知らせします。



むかしのこども遊び「ベーゴマ」



博物館ぶたいうらたんけんツアー

☆開催予定イベント☆

古代生活体験「火起こし」、かまどでご飯炊き、縄ない体験、むかしのこども遊び、おいしく学ぶキッチン火山実験・プチ化石実物図鑑づくり・太陽黒点をみよう、プラネタリウム「こどもフェスタ・スペシャル」、博物館ぶたいうらたんけんツアー、紙芝居「日本の昔話」、などなど・・・

4月

1	月	休館日		
3	水			☆
4	木	展示解説ボランティアの会	講堂	☆
5	金	古文書講読会	講堂	
6	土	◎特別展関連講演	講堂	☆
7	日	◎特別展関連講演	講堂	☆
8	月	休館日		
11	木	石仏を調べる会	特別研究室	
		古代生活実験室	科学教室	
12	金	古文書講読会	講堂	
13	土	東国史跡踏査団	講堂	☆
14	日	相模川の生い立ちを探る会	江の島	☆
		◎特別展展示解説	特別展示室	
15	月	休館日		
16	火	地質調査会	工作室	
17	水	裏打ちの会	講堂	
		民俗探訪会	特別研究室	
18	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
19	金	古文書講読会	講堂	
20	土	星まつりを調べる会	特別研究室	☆
		お囃子研究会	講堂	
21	日	◎ろばたばなし	相模の家	☆
		平塚の古代を学ぶ会	講堂	
		○天の川銀河の模型を作ろう	講堂	
22	月	休館日		
25	木	石仏を調べる会	特別研究室	
26	金	古文書講読会	講堂	
27	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		天体観察会	科学教室	
		◎プラネタリウム特別投影	プラネタリウム室	
28	日	地球科学講座	講堂	☆
29	月	祝日開館		
		◎特別展展示解説	特別展示室	
		◎特別展関連講演	講堂	
30	火	休館日		

春期特別展「天の川銀河へようこそ」(5月6日)

寄贈品コーナー「新着資料展1」

☆: プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示・プラネタリウムと行事

<特別展と関連行事>

☆春期特別展「天の川銀河へようこそ」

会期: 5月6日(月)まで
※詳細は本誌1~2ページ

<寄贈品コーナー>

☆寄贈品コーナー「新着資料展1」

会期: 4月3日(水)~4月29日(祝)
※詳細は本誌3ページ

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「ジャーニー・トゥ・スターズ」

投影日: 5月5日(日)までの土・日曜日、春休み中の水・木曜日

時間: (1) 午前11時 (2) 午後2時
観覧料: 200円 (18歳未満65歳以上無料)

5月

1	水				銀河へようこそ
2	木	展示解説ボランティアの会	講堂		春期特別展「天の川銀河へようこそ」
3	金				
4	土	○天の川銀河の模型を作ろう	講堂	☆	
5	日	◎特別展展示解説	特別展示室	☆	
6	月	◎こどもフェスタ 2013	全館	☆	
7	火				
8	水				
9	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		古代生活実験室	科学教室		
10	金	古文書講読会	講堂		
11	土	東国史跡踏査団	講堂	☆	
12	日	相模川の生い立ちを探る会	花水~照ヶ崎	☆	
13	月	休館日			
14	火	地質調査会	工作室		
15	水	民俗探訪会	特別研究室		
		裏打ちの会	講堂		
16	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
17	金	古文書講読会	講堂		
18	土	星まつりを調べる会	特別研究室		
		天体観察会	科学教室	☆	
		お囃子研究会	講堂		
19	日	◎ろばたばなし	相模の家	☆	
		平塚の古代を学ぶ会	講堂		
20	月	休館日			
21	火				
22	水				
23	木	石仏を調べる会	特別研究室		
24	金	古文書講読会	講堂		
25	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
26	日			☆	
27	月	休館日			
28	火				
29	水				
30	木				
31	金	月末休館日			

寄贈品コーナー「新着資料展2」

<自由参加の行事>

◎ろばたばなし

内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。
日時: 4月21日(日) (1) 午後1時20分 (2) 午後3時
場所: 展示室1階「相模の家」

4月の休館日: 1日、8日、15日、22日、30日

あなたと博物館 41巻01号 通算436号 発行 平塚市博物館 2100
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail. info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/